

安全



圧力に関する警告

- 本装置は、使用前にご使用になる地域の規定および条例に従って適切に設置する必要があります。
- メンテナンス作業を実施する際には、事前にホースリールからの圧力をホースリールから遮断してください。
- 製品ごとに定められている定格以上の圧力では使用しないでください。



操作に関する警告

- ホースリールを取り扱う際には注意してください。一部のホースリールには、スプリングの張力によって駆動される回転ドラムがあります。
- 各々のリールに定められたホース以外は使用しないでください。ホースの直径、重量、長さ、または柔軟性(最小曲げ半径)が異なると、リールの動作に影響が出ます。
- 振動で緩まないように、適切な工具と締結部品で設置を行い、定期的に締め付けを確認してください。
- 頭上の高さに取り付ける場合、リールをボルトナットのみで支えないでください。万が一取り付け不良があった場合の損傷や怪我を最小限に抑えるため、安全チェーン、安全ケーブル、または安全ネット等のご使用を強く推奨します。



メンテナンスに関する警告

- 本装置を改造すると、過度の摩耗が発生し、保証対象外となる場合があります。
- **非常に危険ですのでスプリングモータは絶対に分解しないでください。**一部のホースリールには、スプリングの張力がかかっていますのでご注意ください。



仕様および認定

- 本マニュアルに記載されているホースリール製品は、独立認証機関または規制機関によって認証・認定されていません。
- このシリーズのホースリールは産業用であり、長期間設置するためのマウント器具も提供されています。



圧力および温度定格

- 本マニュアルが対象とするホース付属/ホースなしのすべてのリールには、P.S.I.規格があります。ホースの定格を超える圧力でリールを使用しないでください。
- 汎用ホースは、空気、水、油、その他多くの化学薬品で使用できます。使用可能な化学薬品については販売店にご確認ください。

- 動作温度範囲は、ホースによって異なります。(ホースごとのデータについては、COXREELS のカタログ、ウェブサイトを参照するか、販売店にお問い合わせください)。ホースの定格範囲外の温度でホースリールを使用しないでください。
- ホースを装備していないリールの動作定格は、取り付けられたホースの容量によって決まります。ホースのないリールの圧力定格はリールの稼働能力を超えないようにしてください。(リール/ホースごとのデータについては、COXREELS のカタログ、ウェブサイトを参照するか、販売店にお問い合わせください)。定格が高いホースは、外径が変わるとリールの稼働能力に影響が出ます。



ラベルおよびマーキング

ホースリール(ホース付属/なし)

- ホースリール(ホース付属/なし)には、以下のマークが付されています
 - フレームのラベルに COXREELS の名称とロゴ、製品カタログ番号、個々の製品のシリアル番号、PSI 規格、リールで使用可能なホースの種類と長さが記載されています。
 - ホースなしのすべてのホースリールの最大圧力定格は、COXREELS 識別ラベルに記載されています。この情報が無い場合は、ウェブサイト、カタログ、を参照いただくか、販売店にお問い合わせください。実際の定格は、取り付けられたホースによって決まるため、表示された最大動作定格を超えないようにしてください。ホースなしのリールにホースを取り付けた場合の圧力定格は、取り付け時にラベルに記載する必要があります。



使用者の安全

- 供給ラインを接続する前に、リールが正しく設置されていることを確認してください。
- リールに接続する前に、特定の供給ラインがホースリールの定格圧力またはケーブルリールの定格電流を超えていないことを確認してください。
- 「ホースの取り付け」の手順をよく確認して、ホースを正しく取り付けてください。
- 手順に従って「動作チェック」を実施し、リールが正常に動作していることを確認してください。
- リールに圧力をかけた際に漏れが発生する場合は、供給ラインの圧力を直ちに止めてください。

警告: 静電気による火花を防止する措置を取ってください。可燃物の周囲で作業する場合は、ホースリール、ホース、および装置が適切に接地されていることを確認してください。

設置



警告: 本製品の設置、運転、または保守を行う前に、以下の注意事項をよくお読みください。本製品の設置および試運転は、有資格者のみが行ってください。指示が守られないと、怪我や物的損害を招くおそれがあります。床から 4.5 メートル以上の高さにリールを設置しないでください。

リールの設置

- 一部のモデルのリールでは、標準位置にガイドアームが付属しています。注: E シリーズにはガイドアームは含まれていません。また、図に示すように、シリーズ EN は密閉リールです。
- 図 1.0 に示すように、ガイドアームは任意の位置に調整できます。EN シリーズモデルについては、図 2.0 を参照してください。
- リールラッチまでホースを引き出します。ガイドアームを支持台に固定している 4 本のボルトを取り外します。
- ガイドアームの位置を調整し、4 本のボルトをしっかりと固定します。
- 必要に応じて、内部ホースクランプの位置も調整してください。
- リールを固い構造物に取り付けるには、7/16 インチまたは M12 ボルト 4 本と、ワッシャー、およびナットを使用します。取り付けの用途によっては、コンクリート用ボルト 4 本を使用できます。取り付け用工具は付属していません。リールの取り付けベースには 1/2 インチの差込口が 2 箇所 1/2 インチの穴が 2 箇所あります。取り付けパターンはモデルによって異なります。SG シリーズのリールでは 1/2 インチボルトを使用します。
- 取り付け金具 2 つを天井/床/壁に緩く取り付けて、リールを所定の位置にスライドさせます。リールを固定します。リールのもう一方の端に取り付け金具を 2 つ取り付けます。すべてのボルトとナットをしっかりと締めます。
- 頭上の高さに取り付ける場合、リールをボルトナットのみで支えないでください。万が一取り付け不良があった場合の損傷や怪我を最小限に抑えるため、安全チェーン、安全ケーブル、または安全ネット等のご使用を強く推奨します。

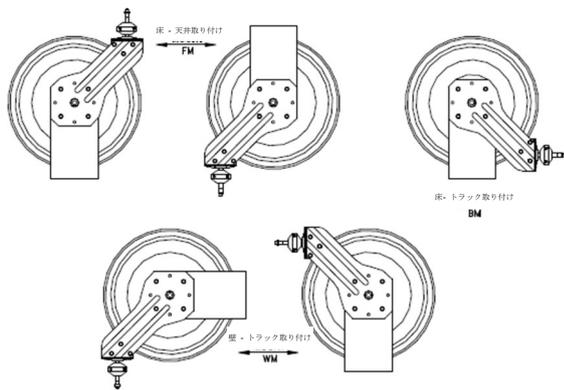


図 1.0

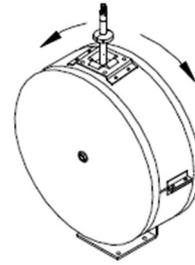


図 2.0

インレットホースの取り付け

- インレットホースの継ぎ手にシールテープを巻き付けて、リールのスイベルジョイントに接続します。



注意: 柔らかいインレットホースを使用してください。スイベルジョイントに側面から力が加わるため、硬質パイプを使用したり、インレットホースを固定しないでください。正しく取り付けられていない場合、保証対象外になります。

- インレットホースを供給源に接続する前に、ホースリールとチューブに一度流体を流してみてください。
- インレットホースをスイベルに取り付けて手で締め、レンチで半回転させます。スイベルが損傷するおそれがあるため、締めすぎないでください。
- リールにホースが含まれている場合は(その他の場合は「ホースの取り付け」を参照)、端末金具、ノズル、またはツールを接続する前に、ホースリールとチューブに一度流体を流してみてください。
- (ホースなしリールの場合)シールテープをアウトレットホース継ぎ手に巻き付けます。必要に応じて、端部にノズル、またはツールを接続します。
- 端末金具やツールに簡単に手が届くようにホースストッパーを調整する必要がある場合は、リールを任意の位置に合わせて固定し、ボールストップのボルトを2本緩めます。ボールストップを動かしてボルトを締めます。リールの固定を外します。
- インレットホースを供給源に接続します。

アウトレットホースの取り付け

注: 手順を進める前に、取り付けるホースがリール定格に従って適切なサイズ、長さ、種類であることを確認してください。間違ったホースを取り付けると、損傷する可能性があります。

- リールをしっかり固定します。
- スプリングがしっかりと固定されるまで、リールドラムを時計回りに(スイベルに対面して)巻きます。



特に注意!

- 約2回転戻し、リールドラムをロックして回転しないようにします。
- ホースのオス側取り付け端をローラーガイドアームを通し、ドラムフランジの側面にある穴に通します。
- これで、オス側ホース継ぎ手がドラムの外側に出てくる形になります。ホース継ぎ手にシールテープを巻き付けて、スイベルジョイントに接続し、ホースクランプ(2個)でホースを固定します。

注: ホースクランプは、ホースが完全に伸びたときにホースを押さえ、ホース継ぎ手とスイベルジョイント間にテンションがかかる事を防ぎます。

- 注意して** ロックラチェットを外し、ホースをゆっくりとリールに巻き取っていきます。

スプリングの張力の調整

- スプリング調整を行う前に、ライン圧力を解放します。
- インレットホースの接続を外します。
- ホースを約6フィート(2メートル)引き出し、ドラムを固定します。
- ホースを手巻きで1周分巻き取ると張力が高まります。逆に手巻きで1周分ホースをリールから外すと張力を下げることが出来ます。



注意: スプリングの張力が不適切な場合や、巻き数を増やして張力を高めすぎると、スプリング機構が損傷するおそれがあります。この調整は、認可を受けた担当者のみが行ってください。

- ドラムの固定を外し、張力が適切かどうかを確認します。
- インレットホースを接続します。

スイベルシールの交換

- スイベルからインレットホースを取り外します。
- アクスルシャフトからスイベルを外して、リールからスイベルを取り外します。スイベルからホースの接続を外します。
- スイベルの固定リングを取り外し、シャフトをボディから引き出します。
- シールを交換し、スイベルに潤滑剤を塗布して再度組み立てます。
- ホースをスイベルに取り付け、スイベルをリールに取り付けます。**締めすぎないように注意してください。**
- インレットホースを再び接続し、漏れがないかテストします。

スプリング ASSY の交換

- ホースを約3フィート(1メートル)引き出し、リールを固定します。
- アウトレットノズル、ガン、またはツール、およびホースストッパーを取り外します。
- 注意してリールの固定を外し、ドラムをしっかり保持します。ドラムが止まるまで**ゆっくり**と巻き戻ります。
- 固定リング、スペーサー、およびスイベルユニットを取り外します。注意:Tシリーズリールでは、まず機外の支持アームを取り外す必要があります。
- ドラムキャビティ内のサポートポスト側にある2個または4個のナットを取り外します。スプリング ASSY のナットは**取り外さないでください。**
- スプリング ASSY をドラムおよびアクスルシャフトから引き出します。
- 上記の手順を逆から行い、再組み立てします。
- ドラムを時計回りに3回(スイベル側から)完全に回転させて、リールの張力を調整し、ドラムを固定します。
- ホースをホースガイドに通します。ホースストッパーを取り付け、ドラムの固定を外します。ホースストッパーがホースガイドにぴったりと接触するようにします。



注意: リールの修理や調整を行う前に、ライン圧力を解放してください。



設置およびメンテナンスマニュアル

トラブルシューティングガイド

トラブル	原因	対処方法
ホースが完全に巻き取られない。	<ul style="list-style-type: none"> a) アウトレットノズル、ガン、またはツールが重すぎる。 b) スプリングの消耗。 c) 取付けホースが長すぎる。 	<ul style="list-style-type: none"> a) スプリングの張力を高くしてください。「スプリングの張力の調整」を参照してください。 b) スプリングの張力を高くしてください。「スプリングの張力の調整」を参照してください。必要に応じてスプリング ASSY を交換してください。 c) ホースリール本体ごとの指定ホース長をご確認ください。
ホースがまったく巻き取られない。	スプリングに張力がかかっていないか、破損している可能性がある。	<ul style="list-style-type: none"> a) スプリングに再び張力をかけてください b) スプリング ASSY を交換してください。「スプリング ASSY の交換」を参照してください。
ホースが任意の位置で止まらない。	<ul style="list-style-type: none"> a) 間違った操作をしている。 b) ドッグスプリングまたはロックカムが破損しているか、摩耗している。 	<ul style="list-style-type: none"> a) リールは、「カチッ」という音が 1 回、2 回、3 回、4 回鳴り、4 回目の「カチッ」音の後、自動的に巻き取りを始めます。 b) ドッグスプリングまたはロックカムを交換してください。
スイベルから液体が漏れる。	<ul style="list-style-type: none"> a) スイベルシールが損傷しているか、摩耗している。 b) インレットホースが硬すぎる。 	<p>スイベルシールを交換してください。「スイベルシールの交換」を参照してください。</p> <p>注意: 漏れがホース側の継ぎ手側からではないことを確認してください。</p>
リールの巻き取りが速すぎる。 (EZ-Coil ™モデルのみ)	EZ-Coil ユニットに欠陥がある。	<p>EZ-Coil ユニートを交換してください。</p> <p>注: 気温が非常に高い場合、リールは通常の条件よりも若干速く動作します。この現象は正常です。</p>
ホースが完全に引き出されると、ロックされる	ホースクランプの位置が正しくない。	ホースクランプを正しい位置に移動してください。
スイベルアセンブリが自由に動かせない、またはロックされている	<ul style="list-style-type: none"> a) インレットホースのフィッティングを締めすぎている b) インレットホースが硬すぎるため、スイベルに側面から力がかかっている。 	<p>スイベルアセンブリを取り外し、損傷がないかどうかを確認してください。必要に応じて交換してください。</p> <p>インレットホースを適切に締めてください。継ぎ手を手締めして、レンチで半回転させます。</p>